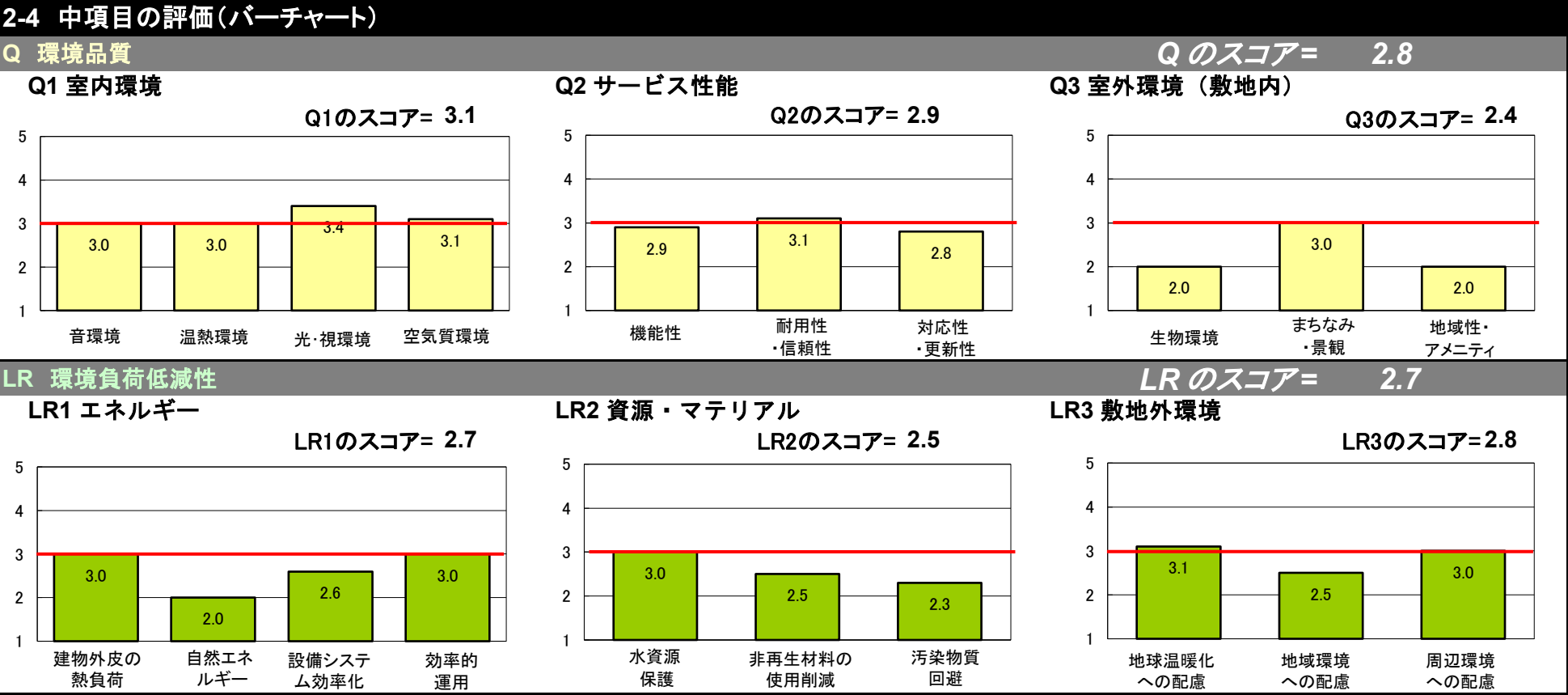
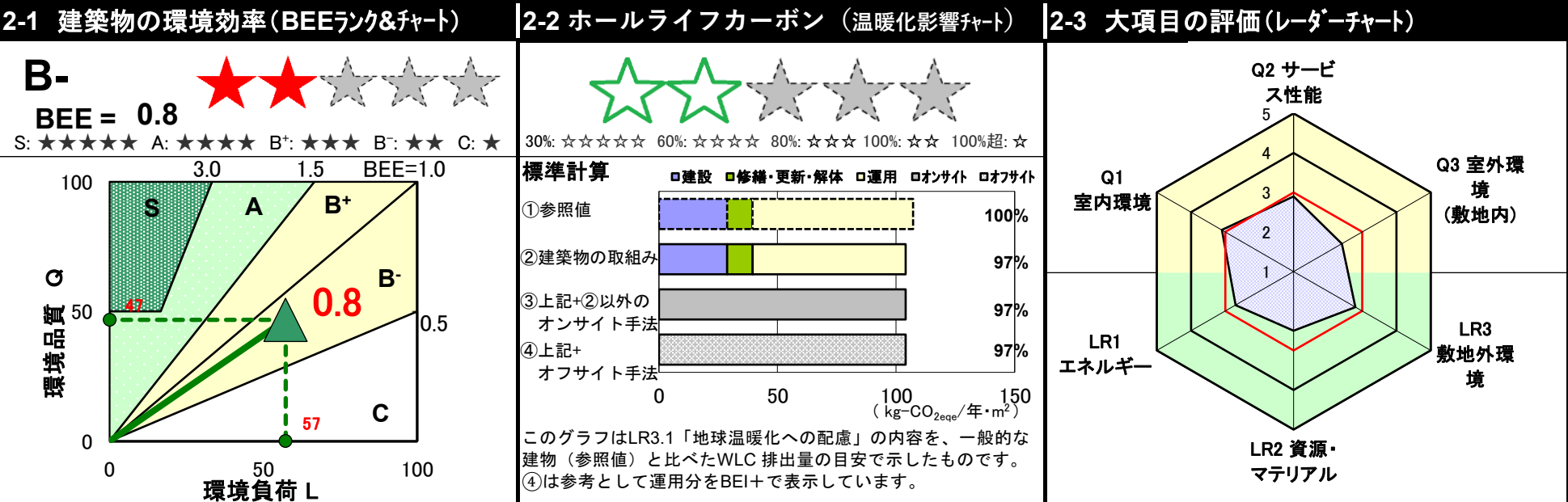




建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル：CASBEE大阪みらい（新築） I使用評価ソフト：「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)東成区玉津3丁目マンションⅡ新築工事	
建設地	東成区玉津3丁目	
建物用途	共同住宅	
建築主	(株)DOORDO	
設計者	(株)M・I設計	
竣工年	2027年7月 予定	
構造/階数	RC造 / 地上10階	
敷地面積	1340.94 m ²	
建築面積	635.50 m ²	
延床面積	4660.58 m ²	



3 設計上の配慮事項		その他
総合 大阪府大阪市に計画された地上3階建て、RC造の共同住宅 室内環境とエネルギー負荷低減に配慮した計画とした		特になし
Q1 室内環境 室内の化学汚染物質低減に配慮した計画としている	Q2 サービス性能 維持管理や耐用性に配慮し、更新間隔の長い内装材や配管を採用している	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内歩行者空間等の暑熱環境を緩和している
LR1 エネルギー 外皮最不利住戸UA値=0.87、住棟でのBEI=0.95を達成	LR2 資源・マテリアル ODP=0.01未満の発泡剤を用いた断熱材を使用している	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物以下となる計画としている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.8

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.1
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.6
配慮事項		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分(品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	等級4(相当)	-
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.93	-